



# 本町だより

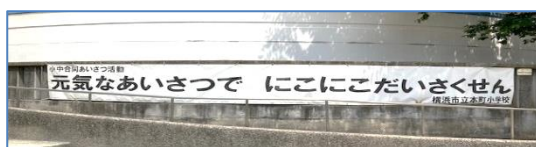
横浜市立本町小学校 令和4年 6月30日 発行 第596号

## あいさつ・返事・くつならべ

副校長 深井 知英

4月の着任式のとき、子どもたちに「先生が今までがんばってきたことは『あいさつ・返事・くつならべ』です。これからがんばりたいことは『あいさつ・返事・くつならべ』です。本町小学校のみんなにがんばってほしいことは『あいさつ・返事・くつならべ』です。よろしくお願ひします。」という話をしました。

「おはようございます」「ありがとう」「はい」



あいさつ・返事に使う1秒ほどの時間。わずか1秒ほどではありますが、あいさつをして返事が返ってくる、子どもからあいさつをされて返事をする、それだけで私はとても幸せな気持ちになります。そして、この1秒を積み重ねることが、相手と心を通わせることにつながると私は信じているのです。

今からもう15年ほど前のことですが、サッカー選手として日本サッカーリーグで年間ベストイレブン10回受賞、日本代表としてもプレーしていた落合弘さんに次のような話を伺いました。

「一流の選手になるためには、一生懸命に考え、一生懸命に行動することが大事だ。サッカーは、ゴールという目標に向けてたくさんのパスをつないでいく。仲間や相手が次にどう動くかを考え、どこにどの程度の強さのボールを出せばよいかを考えなければならない。常に状況が変わる中、瞬時に判断するためには、日頃から相手の気持ちを考え、思いやりのある行動を身に付けることが必要である。

トイレのスリッパをどう置いたらよいか、考えたことはありますか。次の人が履きやすいようにそろえておく、その行動が習慣化された人は、試合中、瞬時の判断ができる選手である。相手の立場に立って一生懸命に考え、行動しないとサッカーは上手にはならない。トイレのスリッパを次の人が履きやすいように揃えることは、相手を思いやる心『思いやり』につながっている。私が見てきたサッカー日本代表に選ばれる人は技術力もあるが、自分勝手な人ではなく、思いやりがある人です。」

落合さんのこの言葉は今も私の心に残っています。

本町小学校のトイレはスリッパに履き替えるシステムです。また、「元気なあいさつで にこにこだいきせん」という言葉が本町小学校の門に入って右側にある横断幕に書かれています。

これからの時代は「予測困難な時代」と言われています。しかし、予測できない困難な時代であろうとも、「あいさつ・返事・くつならべ」は変わらず大切なことだと私は思うのです。

これからも子どもたちとともに「あいさつ・返事・くつならべ」を率先してがんばりたいと思います。



きれいにそろっていると気持ちいい！

本町小学校は、2024年に創立120年を迎えます。

